

みずほCustomer Desk Report 2023/05/01 号 (As of 2023/04/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.14
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.79	1.1033	147.58	1.2500	0.6632
SYD-NY High	136.56	1.1045	150.40	1.2583	0.6642
SYD-NY Low	133.36	1.0963	147.13	1.2447	0.6573
NY 5:00 PM	136.34	1.1017	150.08	1.2569	0.6617
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,098.16	272.00	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	12,226.58	84.35	日本10年債	0.3900%	▲0.0700%
S&P	4,169.48	34.13	米国2年債	4.0198%	▲0.0598%
日経平均	28,856.44	398.76	米国5年債	3.4966%	▲0.1007%
TOPIX	2,057.48	24.97	米国10年債	3.4324%	▲0.0947%
シカゴ日経先物	29,085.00	345.00	独10年債	2.3205%	▲0.1310%
ロンドンFT	7,870.57	38.99	英10年債	3.7120%	▲0.0810%
DAX	15,922.38	121.93	豪10年債	3.3980%	0.0420%
ハンセン指数	19,894.57	54.29	USDJPY 1M Vol	9.56%	▲1.34%
上海総合	3,323.27	37.39	USDJPY 3M Vol	10.46%	▲0.85%
NY金	1,999.10	0.10	USDJPY 6M Vol	10.30%	▲0.46%
WTI	76.78	2.02	USDJPY 1M 25RR	▲0.97%	Yen Call Over
CRB指数	268.16	2.94	EURJPY 3M Vol	10.24%	▲0.81%
ドルインデックス	101.66	0.16	EURJPY 6M Vol	10.34%	▲0.57%

東京	東京時間のドル円は、133.79レベルでオープン。10時半ごろに日銀会合に関する観測報道が確認され乱高下する場面も見られたが、134円を挟んだ値動き。13時に緩和策の継続とともに1年から1年半かけて多角的レビューが実施されることが示されると、一旦133.39まで下落後、135円手前まで急騰するボラティルな展開。一巡後も円売り地合いは継続し135円を突破すると135.29をつけ、135.22レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.22レベルでオープン。日銀のハ派姿勢を確認し終始円安で推移。136.18まで上昇し136.10レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1011レベルでオープン。ユーロ圏各国の第1四半期GDPが発表され全般に弱めの発表が相次ぎユーロは売られた。一時1.0973に低下し1.0974レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。日銀金融政策決定会合で緩和政策の現状維持が発表され円売りが強まり、早朝には3月10日以来の136円台回復を果たし、136.10レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月PCEコアデフレーターや米Q1雇用コスト指数が予想を上回り、買いで反応するも、136.40近辺までの上昇に留まる。続いて発表された米4月シカゴPMIやミシガン大学5-10年期待インフレ率が予想を上回る中、高値の136.56まで上昇するが、海外時間から2円以上上昇しており、その後は伸び悩む。午後は週末ムードで136.30近辺で推移。結局、136.34レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。フランスやドイツの4月CPIが予想を下回り、ユーロ圏のインフレ率減速の思惑からユーロ売りが先行。続いて発表された独4月PMIとユーロ圏4月GDPも予想を下回り、ユーロ売りが加速し、1.0974レベルでNYオープン。オープン後、1.0963まで安値を更新するが、欧州主要株式指数が軒並みに反転上昇した事や、日銀の金融緩和継続が再度意識され、ユーロ円が約14年ぶりの高値を付ける中、ユーロドルは連れ高となり1.1045まで反発。午後は買いが一巡し、1.1020近辺まで反落。結局、1.1017レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大橋(開)・松木

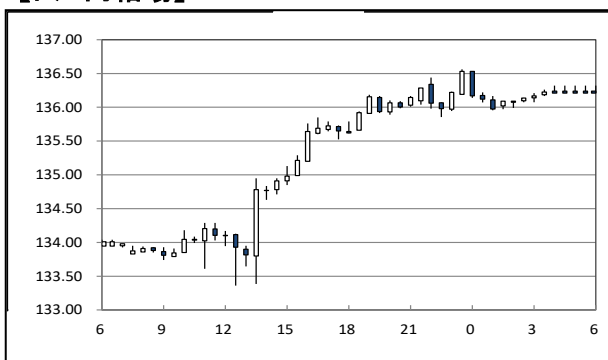
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月28日	08:30	日 東京/東京コア/東京コアコアCPI	4月 3.5%/3.5%/3.8%	3.3%/3.2%/3.5%
	-	日 日銀金融政策決定会合	4月 10年国債の許容変動幅を+0.5%に据置	
	17:00	独 GDP(前期比)・速報	1Q P 0.0%	0.2%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	1Q A 0.1%/1.3%	0.2%/1.4%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	4月 0.4%/7.2%	0.6%/7.3%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	3月 0.1%/4.2%	0.1%/4.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 63.5	63.5
4月30日	10:30	中 製造業PMI	4月 49.2	51.4
	10:30	中 非製造業PMI	4月 56.4	57.0

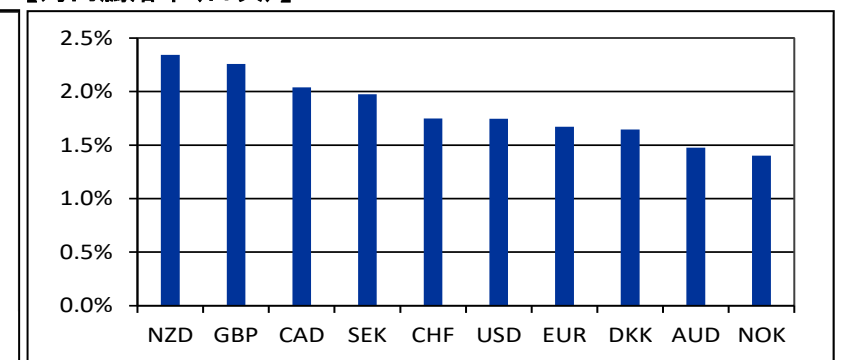
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月1日	23:00	米 建設支出(前月比)	3月 0.1%	-0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	4月 46.8	46.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-137.00	1.0950-1.1040	149.50-150.70

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円はアジア時間から上昇。東京時間は133.79レベルでオープン。日銀会合を控え、観測報道が確認され乱高下する場面も見られたが、134円を挟んだ値動き。13時に金融緩和策の継続と共に1年から1年半かけて多角的レビューが実施されることが示されると、一時133.39近辺まで下落。しかし長続きせず、その後はドル買い優勢となり、136円台まで上昇。NY時間では米インフレ関連指標等が市場予想を上回る中、136.56まで上昇した後、引けにかけて小幅戻し136.34レベルでクローズ。

本日はドル買い優勢な展開を想定。理由は主に二つ。①先日の日銀会合において緩和策継続が示されており、長期的には緩和策縮小が意識されやすいものの、短期的にはイベント通過で円安圧力が働きやすいとみる。②足元米債務上限問題が燦々しているものの、ファーストリパブリック銀行の懸念が改善している状況下、金利上昇余地に要警戒。